

創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 渡辺 政彦

学校だより 第7号

令和2年11月9日



とらのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>



油 断

校長 渡辺 政彦

早いもので11月も半ばとなり、来週末には期末考査があります。ぜひ早めに計画的に準備をしてほしいと思います。さて、今日は、学校生活を送るうえで、学級や学年など集団を高めるために意識してほしいことをふれたいと思います。

それは「油断」という言葉についての話ですが、大変興味深い内容だったので紹介します。この「油断」という言葉の語源についてはいくつかありますが、比叡山延暦寺の説を紹介します。比叡山の延暦寺根本中堂に1200年前からずっと大切に守られている宝があります。それは延暦寺を開いた最澄が修行で使っていた炎の灯火（ともしび）で、その灯火を守るために菜種油が切れないように注ぎ、炎の芯が燃え尽きそうになると新しい芯に代える。そういった営みを1200年の間、永々と続けてきたそうです。

では灯火は、誰が、どのようにして、守り続けてきたのか。大勢の灯火係りを決めたり、あるいはお寺の中でその管理の仕方や役割がしっかりと確立されていたのかと思ったのですが、その答えがとても意外で、奥深いものでした。

「係りとか役割を決めたら、何年かはうまく出来るかも知れない。しかし、役割を決めた瞬間に誰かの仕事というような甘えの心が芽生えて他人事になってしまう。そこに失敗の原因が隠されている。」だから比叡山では、誰も役割はもっていないそうです。「気づいた人が油を足し、気づいた人が芯を代える。自分たちが命に代えて守らなければならない宝である灯火は、他人事ではなく自分事である。それは役割や係りの分担で行うものではない。」というものです。油が切れたら灯火は消えてしまう。『油断』とは、心の中に迷いや怠慢が満ちて、当たり前前のができないことを指し、「油断」という言葉は、比叡山の灯火を守ることから生まれた言葉だそうです。

もちろん集団生活において、与えられた役割に責任をもつことは大切なことです。しかし、一方で役割を決めた瞬間に誰かの仕事になり、他人事になってしまう。他人ごとになってしまうえば自分は関係がなくなり、そのことに関心がなくなるというのも一理あります。

先週、金曜日に生徒総会があり、土曜日には横田拓也さんの「命の講演会」がありました。二つの内容を同等に比較はできませんが、共通することは委員会活動や拉致問題について“自分には関係ない他人事”としたらそこに進歩はありません。学校をよりよく、すべての人が気持ちよく過ごせる場所にするために自分がすべきこととは何か。自分達が守らなければならないこととは何かを一人一人が”自分たちの事”として考えることで意識が高まり、学校や学年やクラスが向上していきます。ひいては、こうした集団に所属する自分も知らず知らずのうちに伸びていきます。関心をもつこと。自分のこととして考えること。そうした人が増えることで、みんなでよくしていこうとする意識が高まり、集団も向上していくと思います。

最後に、新型コロナウイルス感染防止により、学校公開など未だに実施が難しい状況ではありますが、12月には保護者も交えた個別の全校面談を予定しております。家庭や学校での生活面や学習面、進路など心配な点がございましたら、この機会にご相談いただければと存じます。

第3学年 進路説明会

10月17日(土)の3校時に、今年度第2回目の進路説明会を行いました。今年度の入試日程や書類などを含めて、進路担当より概要を説明させていただきました。今年は、例年と比べて入試形態や出願方法なども変更がいくつかあります。ご家庭におかれましては、進路説明会での話を参考にしていただきながら、お子様の進路決定に向けて相談を進めていただければと思います。



立川市中学生の主張作文

11月3日(火)、たましんRISURUホールで中学生の主張大会が開催されました。本校から代表として、1年生の坂本詩季さんが発表しました。身近なものの大切さ、他者や他国を助けることの尊さを伝え、見事、青少年問題協議会会長賞を受賞しました。



- 青少年問題協議会会長賞 1年 坂本 詩季さん 「身近な所から世界を知る」
- 優秀賞 3年 田中 くるみさん 「笑って過ごせる明日を」
- 3年 デイズイアー 海君 「みんなちがってみんないい」
- 西砂地区優秀賞

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1年 糺谷 慶 さん「黒いマスク」 | 1年 乙幡 礼子 さん「道端のポイ捨てについて」 |
| 1年 江頭 胡桃 さん「一つの命」 | 2年 名畑 姫音 さん「電車の席、譲る？譲らない？」 |
| 2年 庄村 向日葵 さん「自分自身を愛する」 | 3年 鶴田 彩 さん「今を生きる私たち」 |
| 3年 鈴木 瑠璃 さん「自由とは何だろう」 | |

第一学年主張作文発表会

各クラスで全員が発表し、クラス代表を決めました。代表者は、身近なことから世界のことを考えたり、思いやりのある行動について考えたりとさまざまなテーマについて自分の体験談などをふまえて書いた主張作文を、学年全員の前で堂々と発表しました。来年はさらによりよい主張作文が書けるようになっていないでしょうか。



第二学年国語科歌会

国語の授業で短歌を創作し、歌会を開きました。歌の中には生徒の思いや実体験なども込められ、それぞれが個性的で素敵な歌ができました。クラスで発表を行い、その際にはなぜその歌を選んだのか理由を伝え合いました。最後に特選に選ばれた歌を作った人に手をあげてもらいましたが、作者が分かると歓声があがり、どのクラスも盛り上がり、楽しい授業となりました。

通知音 笑 おうよ なりたくない
 されど来るのは、公式1110。 良いことあるさ 楽しいんだ勝ちでも 丸橋 実咲 中田 志穂
 心の中はあなただけ 大切なこと 大人になんて なりたくない
 目下 翔雅 丸橋 実咲 中田 志穂

美術科作品(3学年)



美術の授業における「ネームプレート」の製作です。銀色と濃紺の色で表現されており重厚感と高級感が漂う金属加工した作品に見えます・・・が、実は木調の作品です。どれも丁寧に素敵な作品となっています。

技術科作品(2学年)

技術科の授業において、ラジオ製作で欠かせないハンダ付けの練習として「五角柱の製作」を行いました。ハンダを溶かし、針金と針金を接合する地道な作業を班単位で取り組みました。



【生徒活動の記録】～七中生、頑張っています！

- 立川市 薬物乱用防止標語
 - ・会長特別賞 1年 柏木 夢耶 さん 「薬物に 惑わされない その勇氣 思いがこう 自分の未来」
 - ・佳作 2年 二瓶 梨乃 さん 「ぬげだせない 薬物依存の 悪循環 誘われた時の 断る勇氣」
 - ・入賞 2年 松尾 咲苗 さん 「一度だけ 染めたその手は 戻らない」
- 立川市 薬物乱用防止ポスター
 - ・佳作 2年 山田 美咲 さん
 - ・入賞 3年 矢野 伽羅 さん
- 卓球部 女子
 - ・第10ブロック新人大会(個人)
 - 第3位 原田 ほのか さん
 - 第5位 原田 くるみ さん
 - ・多摩地区研修大会(団体) 5勝1敗
 - 3位決定戦 立川七(3-0) 日野二中
- ソフトテニス部 男子
 - ・第10ブロック ソフトテニス夏季学年別大会(個人戦)
 - 準優勝 高木 蓮・吉田梓紋 組
 - 第5位 濱田碧人・佐藤亮太 組
 - 第5位 乙幡和平・野村征希 組
 - 第5位 長谷川稜・青木琢真 組
 - ・第10ブロック ソフトテニス秋季新人大会
 - (団体) 準優勝 ※都人会出場が決定
 - (個人) 準優勝 高木 蓮・吉田梓紋 組
 - 第5位 濱田碧人・佐藤亮太 組
 - 第5位 乙幡和平・野村征希 組
 - 第5位 長谷川稜・青木琢真 組
 - ・立川市民体育大会 ソフトテニス中学男子の部(個人戦)
 - 優勝 高木 蓮・吉田梓紋 組
 - 第3位 堀川昭太・溝手智也 組
- ソフトテニス部 女子
 - ・第10ブロック ソフトテニス秋季新人大会
 - (個人) ベスト8 甲斐杏奈・細江 陽組
- 陸上・東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会
 - 男子3年 走幅跳 第3位 高原 一希 君 6m4.2
- 硬式テニス 市民大会テニスの部 中学生シングルス
 - 女子2年 第3位 三輪 芽衣香 さん